

【別表】H30.10採用若手任期付研究職員公募課題一覧

公募番号	機関名	研究領域	所在地	課題名	業務内容 ※
N01	東北農業研究センター	畜産飼料作研究領域	岩手県盛岡市	子実用トウモロコシを組み入れた田畑輪換利用体系の開発	(1)合理的な子実用トウモロコシ大豆作付体系の開発 (2)堆肥施用を活用した子実用トウモロコシと大豆の低コスト多収栽培技術の開発 キーワード:飼料作物、栽培生理、緑肥効果、植物栄養、物質循環
N02	東北農業研究センター	生産環境研究領域	岩手県盛岡市	寒冷地水田を活用した野菜作導入のための土壌管理技術の開発	(1)寒冷地水田へ野菜作を導入する際の肥料成分動態の解明と施肥管理技術の開発 (2)野菜土壌病害の発生に関する肥料成分の解明とその利用技術の開発 キーワード:土壌管理技術、肥料成分、土壌病害、寒冷地水田、野菜作
N03	中央農業研究センター	農業経営研究領域	茨城県つくば市	水田飼料作コントラクター組織の成立条件と効率的運営方策の解明	(1)水田飼料作コントラクター組織の成立条件の解明 (2)オペレーションリサーチ手法による水田飼料作コントラクター組織の効率的運営方策の提示 キーワード:水田飼料作、コントラクター、オペレーションリサーチ、耕畜連携
N04	中央農業研究センター	生産体系研究領域	茨城県つくば市	麦類等畑作における難防除雑草の防除技術の開発	(1)麦作・露地野菜作における雑草の発生実態調査と生態解明 (2)耕種防除と化学的防除を組合わせた麦作難防除雑草の総合的防除技術の開発 キーワード:雑草、冬作、麦、露地野菜、生態、総合的防除
N05	中央農業研究センター	水田利用研究領域	新潟県上越市	寒冷地南部水田輪作におけるICTを活用した作業の適正化、高能率化技術の開発	(1)地域特性に合わせたスマート農業を利用した作業技術を開発し、耕起、播種、管理作業等の適正化および高能率化を図る。 キーワード:水田輪作、重粘土壌、作業の適正化・高能率化
N06	西日本農業研究センター	営農生産体系研究領域	広島県福山市	中山間地域等における多筆分散圃場の営農支援システムの開発	(1)作業判断に必要な多様な営農情報に基づいた適期作業支援システムの開発 (2)多筆分散圃場での効率的な生産のための作付計画策定支援システムの開発 キーワード:営農情報、意思決定支援、適期作業、作付計画
N07	西日本農業研究センター	生産環境研究領域	広島県福山市	画像解析等を活用した害虫発生判定システムおよび土着天敵データベースの開発	(1)粘着板画像による害虫の種類および発生量を判定するための技術開発 (2)西日本における土着昆虫類の捕食者-被食者データベースの開発 (3)開発システムの現場への導入条件の検討 キーワード:分類学、画像解析、分子生物学
N08	西日本農業研究センター	傾斜地園芸研究領域	香川県善通寺市	新規生産資材等の活用による中小規模施設野菜栽培における低コスト安定生産技術の開発	(1)新規生産資材の活用による施設野菜生産における栽培環境改善技術の開発 (2)複数生産資材の組み合わせによる省エネ施設野菜生産技術の開発 キーワード:栽培環境、作業環境、産地活性化、資材利用、省エネルギー
N09	西日本農業研究センター	傾斜地園芸研究領域	香川県善通寺市	中山間地農業における生物多様性利用のための地域特性の解明	(1)農地周辺の生物多様性に影響を及ぼす中山間地域の農業形態と地域特性の解明 (2)中山間地域の農業がもたらす生態系サービスの解明 キーワード:中山間地域、生物多様性、生態系サービス、地域特性、農法
N10	九州沖縄農業研究センター	園芸研究領域	福岡県久留米市	大・中規模施設での環境および植物体情報を活用したイチゴの栽培管理システムの構築	(1)施設内環境データおよび植物データの取得手法とデータベースの確立 (2)各種データを活用したイチゴの栽培管理システムの構築 キーワード:情報利用、センシング技術、環境制御
N11	果樹茶業研究部門	リンゴ研究領域	岩手県盛岡市	寒冷地果樹カメムシ類発生予察技術の高度化	(1)フェロモントラップを利用した効率的な果樹カメムシ類の予察技術の開発 (2)北日本における果樹カメムシ類の発生生態の解明ならびに適期防除技術の開発 キーワード:果樹害虫、生活史特性、飛来性
N12	畜産研究部門	飼料作物研究領域	栃木県那須塩原市	子実用トウモロコシ生産安定化のための総合的害虫管理技術の開発	(1)子実用トウモロコシ生産におけるチョウ目害虫の生態にもとづく総合的害虫管理技術の開発 (2)チョウ目害虫被害とトウモロコシ赤かび病発生との関係解析 キーワード:飼料作物害虫、被害解析、かび毒
N13	畜産研究部門	飼養管理技術研究領域	栃木県那須塩原市	水田を飼料作基盤とする大規模酪農経営の展開条件の解明と資源循環型飼料生産・調製・飼養技術体系の経済性評価	(1)水田の畜産的利用による大規模酪農経営の展開条件の解明 (2)資源循環型飼料生産・調製・飼養技術体系の経済性評価 キーワード:水田の畜産的利用、自給飼料、耕畜連携、大規模酪農経営、経済性評価
N14	高度解析センター	生理活性物質解析チーム	茨城県つくば市	レギュラトリーサイエンスに貢献する有機化学物質の分析・評価法の開発	(1)食品の製造・加工・調理により生じる有機化学物質の解析・評価 (2)食品の加熱により生じる有害化学物質の低減技術開発 (3)MS・NMR等の化学機器分析手法を用いた農産物・食品中の低分子有機化合物の構造解析 キーワード:焙煎食品、アクリルアミド、生理活性物質、化学機器分析

※ 合格者の適性を勘案し、本人と相談の上、他のポストへ配置する場合があります。

※ 規程の改正により組織名称等が変更となる場合があります。

※農研機構が第四期中期目標を達成するために推進しているプロジェクト(大課題および中課題)については、以下のホームページに掲載されています。

【農研機構】<http://www.naro.affrc.go.jp/project/challenge/index.html>